

進路説明会

-1-

・本日は、お忙しいところご参加いただきありがとうございます。

次の内容について、生徒と共に確認します。

(1)卒業後の進路選択の流れ

(2)一般的な受験の仕組み

※個別の質問などは、全体会後に受け付けます。

生徒へのアンケートから -1-

238/289

まだ決めていない 2名

進学希望 234名

就職希望 2名

興味がある高校がある人 196名

具体的な高校の例

神奈川総合高校 舞台芸術コース

生徒へのアンケートから -2-

238/289

●進路選択に関する不安や疑問

- ・自分にあった高校が見つかるか。
- ・高校に行けるか不安。
- ・具体的にどの高校に行きたいのか自分がわかっていない。
- ・多分行けない。
- ・いつ、何をすればいいのか。
- ・内申ってどれぐらい受験に関わってきますか。

生徒へのアンケートから -3-

238/289

- ・公立高校はとても自分にとってチャレンジになる高校を選択したので、併願の私立高校について詳しく知りたい。
- ・まったくない。全て完璧に決まっている。
- ・進路はたくさんあるため、自分にあった場所を選んでも進学してみても本当に自分に合っているのかが心配。大学などの進路も考えながらやらないといけないから、まだ先のことを何も決めていなくて不安。

受験を特別なものにしない。

「寝不足」

「課題が終わらない」

「時間が足りない」

無理をして
いないですか？

無理は長続きしません。

自分に合った
良い生活習慣を見つけ
続ける

最終的には、生徒のみなさんと保護者のみなさんで十分に相談の上、決定してください。

時間は十分にかけたいのですが、事業所、高校、有馬中学校にもご提出いただく文書などの期日がございます。

これを過ぎますと、文書などを受け付けられなくなり、試験を受けられない、合格しても入学できないこともあります。

＜私立高校や事業所の場合＞

中学校で作成した成績証明などの書類をご家庭から郵送する場合があります。

その文書は「**開封厳禁**」です。



「**開封無効**」という意味
です。絶対に開けない
でください。

事業所、高校に向け、担任はたくさんの文書を作成してきます。

その文書には、「**指導要録記載の住所と氏名**」が記入されます。7月の面談でお渡しする文書に訂正がある場合は、すぐに学級担任までお知らせください。

高 高

別人物と判断される。

中学校卒業後の進路選択について

やっていただきたいこと

- **家族会議** — 議題: 「 **将来の夢と中学卒業後の進路** 」
 - ・就職 / 進学(高校又は高等専修学校)
- ・就職⇒今すぐ「就活」開始
 - ・進学⇒「説明会」調べ 高校 HPに情報あり

就職

進路決定までの流れ -1-

- ・今すぐ「就活」開始

- ・給料
- ・福利厚生
- ・保険

ハローワーク川崎北

などの条件面の確認

⇒入社試験、面接

・進学希望の方の主なスケジュール

進路決定までの流れ -2-

5月	将来について考える	家族会議
6月	自分の良い点を知る・伸ばす	 生徒には 家族のみなさんの 支えが必要です。 
7月	説明会に予約・参加	
8月	説明会、体験入学に予約・参加	
9月	説明会、体験入学に予約・参加	
10月	説明会に予約・参加	
11月	受験校決定(私立推薦、私立併願)	
12月	受験校の資料入手(募集要項、調査書など)	
1月	出願(公立、私立)、私立推薦入試と発表⇒手続き	
2月	入試と発表(公立、私立)⇒手続き	

公立高校

出願期間：2027年1月25日（月）～29日（金）

決定：＜最終＞2027年1月初旬

学習に使う時間を増やす。気持ちの整理ができる。

私立高校

決定：一般・推薦・併願＝12月面談で

・見通しを持つための「進路面談」 10月26日、27日、29日

公立高校

合格者の決め方

受験の仕組み -4-

①中学校の成績
(学習の記録)

+

②学力検査の結果
5教科×100点=500点

+

(一部の高校)
特色検査の結果

2年後期の評定+3年11月の評定= 135満点

9教科×5段階評定: 45

9教科×5段階評定: $45 \times 2 = 90$

全教科「3」の場合: $27 + 54 = 101$

公立高校

受験の仕組み -5-

	1次選考 90%	2次選考 10%
学習の記録	○	×
学力検査	○	○
特色検査	○	○
評価(A/B/C)	×	○

公立高校

受験の仕組み -6-

合否を決める数値の比率

学習の記録



学力検査



100%



特色
検査

A高校

50%



50%

元石川、市ヶ尾、元石川

B高校

40%



60%

住吉、橘、生田東、川和

C高校

60%



40%

麻生総合、鶴見総合

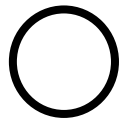
私立高校

12月7日までに決定

受験の仕組み -7-

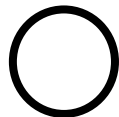
学習の記録の基準

推薦



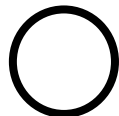
その学校だけ出願できる。(例外あり。)

書類選考



その学校だけ出願できる。(例外あり。)

併願



第2、第3志望校として受験する。

*** 神奈川県内私立高校は1校のみ志願可。**

一般



志願校数に制限なし。

12月7日までに決
定

受験の仕組み -8-

学習の記録の基準

推薦

書類選考

併願

一般

・高校側と中学校側で、志願の条件を満たしているか(成績、人物など)を確認する【入試相談】を経ないと受験資格がありません。そのため、「推薦」「書類選考」「併願」の校内申込みを
12月7日(月)とします。(例外あり)



志願校数に制限なし。

私立 入学者選抜の種類

1. 推薦《条件を満たす生徒》

①第1志望

②人物(学校生活)

③成績(出席状況)

中学校生活の3年間を通して
学校から自信を持って推薦で
きる活動状況

■例:3教科「11」以上 かつ 5教科20以上
ただし、どの教科にも「1」は不可
3年間の欠席が10日以内 3年次は3日以内

私立 入学者選抜の種類

2. 併願・一般併願《条件を満たす生徒》

第2志望校として受験する

第1志望校は「公立」「私立」どちらでも可

第1志望校は「**公立**」のみ可

必須条件：第1志望校不合格の場合は、必ず入学する。

■推薦、単願（専願）、併願とも【入試相談】後は、
取り消しできません。

入試相談とは？

- ・高等学校教員と中学校教員とで、**その生徒が受験することを前提に** 生徒の成績などの情報を確認する。
- ・高校側の条件を満たしている場合、不合格になる可能性は極めて低い。
- ・入試相談をした生徒は **必ず受験** し他の学校が不合格の場合は、「入学」する。
- ・入試相談は、取消、辞退はできません。

<例> 推薦の成績基準

特別進学

国際

進学

推薦

3科12

または

5科19

3科11 また

は

5科17

3科10 また

は

5科16

9科29

併願優遇

3科12 また

は

5科20

3科11 また

は

5科18

3科10 また

は

5科16

9科29

内申点は**3年2学期のみ**。

(2期制の場合は12月に決まる成績 <本校は11月末>)

3科・・・国語・数学・英語の合計

推薦 3科11以上 かつ 9科 32以上

- ・加点項目：英検準2級以上を英語に1点加点する。
数検準2級以上を数学に1点加点する。
漢検準2級以上を国語に1点加点する。

併願

①3科 12以上 かつ 9科 36以上

②3科 13以上(その他6科に「1」がないこと)

加点項目:英検準2級以上を英語に1点加点する。

- ▶説明会に参加すると加点される学校もある。
- ▶説明会のときにある個別面談が「予備面談」になっている学校もある。予備面談を受けたことが受験資格に含まれる学校もあるので説明をよく聞く。
- ▶併願基準やルール、調査書、推薦書などの確認

(例)受験パターン

受験の仕組み -9-

公立高校 第一志望

① **公立**高校 — **私立**併願

② **公立**高校

99%合格する
高校を選ぶ(入
試相談が必要)

(例)受験パターン

受験の仕組み -10-

私立高校 第一志望

①私立 推薦

②私立 書類選考 ---不合格の場合の対応を予め準備<一部
>

③私立 一般 ---不合格の場合の対応を予め準備

↓
私立 併願 ---*神奈川県内私立高校の場合 1校だけ志願
可

私立 併願---*神奈川県内私立高校の場合 1校だけ志願

例外

・併願でも「**不合格**」になる高校を受験する場合、**2校目の併願校**として神奈川県内の私立高校を**入試相談を経て、併願受験することができる。**

志望校決定の考え方(例)

「次の**次**」のこと考えて、「次」を考える。

大学
専門学校
就職

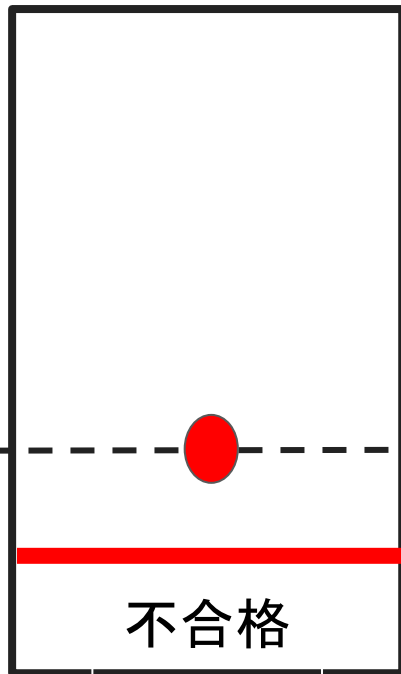
指定校推薦

高校

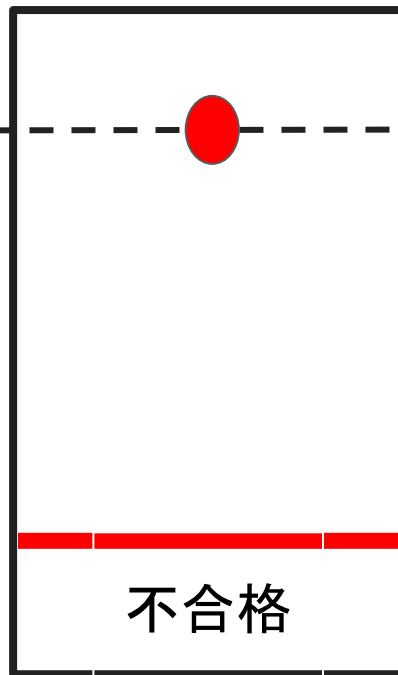
総合型選抜

高校での「内申点」「TOEIC」「実績」などで合否が決まる。

A高校



B高校



生徒Aさんの
学習の記録

110/135

「次の**次**」のこと考えて、「次」を考える。

資格

将来の夢：保育士

「幼児教育」の学部がある大学付属の高校に進学する。

将来の夢：介護福祉士

高校在学中に「介護福祉士」の資格を取得できる高校で学ぶ。

・工業科の高校では、高収入に直結する資格を多数取得できる。

公立高校 WEB出願

対応できるようご準備をお願いします。

授業料**だけは**無償になります。

- ・制服代
- ・施設・設備費
- ・諸会費
- ・修学旅行費
- ・通学定期代金

学校により異なりますので、説明会でご確認ください。

多くの生徒は、保護者の方の喜ぶ顔を見たくて学習に取り組んでいます。

「自分のため」と考えられる生徒の数は多くはありません。

生徒は頑張っています。

部活も勉強も友達とのことも

私たち教員は、
そんな生徒を
応援しています。

高校合格は「スタートライン」です。

ゴールまで走り切ることができることが大切です。

何をゴールにして
何をしたいくて
何のために

その高校に「**3年間通う理由**」が
うまく行かなくなったときの支えになります。

令和9年度入試

進路選択に関する情報のサイト

